

フィリピン

十月革命は今と深く結びつき今もなお確固とした価値を有している

エデュワルド・F・ランダヤン（フィリピン共産党〔PKP - 1930〕書記長）

親愛なる同志のみなさん。

わたしたちは〈活動家集団 思想運動〉の皆さんが呼びかけ、年々その拡大に努めておられるこのきわめて歴史的意義のある集会に参加された皆様に対し、同志的、革命のご挨拶をお送りします。

本日、わたしたちが記念するこの普遍的な出来事が生じたのは百年以上前のことです。しかし、この出来事は今と深く結びついており、わたしたちは、それが今なお確固とした価値を有していることを忘れることはありません。この普遍的な出来事は、社会的、経済的、政治的、哲学的発展およびその変革に大きな貢献をもたらしました。その貢献の広がりや深度に関し比肩できる出来事はなく、社会と文明が今後進歩したとしてもそうありつづけるでしょう。だれも、それがもたらした深淵な影響を否定できません。それは、社会の進歩、哲学およびイデオロギー的認識に対し価値ある貢献をもたらしました。また、それはその後の変革を引き起こす基礎となり、それまで支配的な社会関係であった資本主義的、植民地主義的、封建的、奴隷制的社会秩序は、没落と終焉へと方向づけられています。

この出来事は一〇六年前に生起し、その課題を担ったのは、ロシアの労働者・人民でした。かれらは、当時の資本主義ヨーロッパと帝国主義アジアで吹き荒れていたグローバル資本主義戦争に抗して闘ったのです。そのことで、この出来事は今なお重要でありつづけているのです。ロシア社会主義革命の生起は、ヨーロッパとアジアの分割をめぐる資本主義間の対立にツァーリスト・ロシアが介入したことに対する、農民、労働者、兵士をはじめとする被抑圧大衆からの応答であり、それらに対する抵抗でした。

それは、ロシアの労働者や農民らによる平和への道程の探索であり、自らの運命を自ら決しようとする試みでした。その探索と試みを主導したのは、征服、植民地からの搾取、そして覇権を求め帝国主義者の野望によって砲弾の餌食にさせられた下級兵士であり、奴隷的束縛からの解放と土地所有を要求した農民であり、満足のいく食事と安心できる生活を希求する飢餓に苦しんでいた大衆であり、錆びついた道徳や旧弊の変革とそこからの解放、そして、反動的・抑圧的システムの転換をめざした少数の知識層でした。

「平和、土地、そして、パンを」というスローガンを掲げたボリシェヴィキの指導のもと、わたしたちが記念するこの日に、ロシアのツァーリズム君主政権は打倒されました。君主独裁政権の崩壊は、平和と、ツァーリスト・ロシア終焉への道を切り開きました。

革命が生み出した成果と発展は、世界中につきのこを証明しつづけています。封建制が桎梏であり集团的土地所有が実現できること、無償の国民皆教育制度が実現できること、資本主義に仕えるご主人なしでも工業化と経済成長が達成可能であること、入院や治療費が無料の医療保健制度が実現できること、すべてのひとに廉価な住宅を提供できること、誰もが高い精神性と審美性に溢れた生活と自由を享受できること、そして、ひとによ

るひとの搾取や国による国の搾取をいっさい根絶することが可能であること、です。

この日の輝きには、こういった意義のある成果と発展が含まれています。差し迫った戦争と帝国主義者によるグローバルな搾取という危機と対峙するとき、一九一七年十一月七日のロシア社会主義革命の教訓と経験は、わたしたち、すなわち労働者、農民、兵士、社会の民主主義階層が学び、思想を豊かにし、そして、強固な団結を築いていくうえでなくてはならないものです！ それらこそ、わたしたちが共有している普遍的な闘争、すなわち、平和、民主主義、自由、そして、社会主義のための闘争にとってなくてはならないものです。

ロシア十月社会主義革命万歳！

ともに闘いましょう。

二〇二三年十月二十八日

(見出しは編集部による)

【訳＝木田誠也】